

☆放課後子ども教室☆

日中は暖かい日も、日が暮れると風が変わり、ぐっと気温が下がります。寒さが身にこたえもしますが、しばれた日の夜、空の月や星がとてもキレイに見えること。翌日の朝、冷たい空気を吸い込むと、目がぼんやり覚めて背筋がシャキッと伸びて気持ちが良いことは、真冬の厚真の魅力のひとつなのだと思います。

子どもは風の子といいますが、そんな寒い日でも子どもたちは元気！「今日は外で遊ぶんでしょ？」とスキーウェアに帽子に手袋、完全防寒でやってきます。グラウンドで雪合戦をしたり、戦いごっこをしたり、氷の上でつるつる滑ったり、除雪のために積んだ雪山でかまくらを掘ったり、基地を作ったり。学校林にも探検に行きました。木と木の間をぬって尻すべりコースを作り、汗をかきながら登っては滑るを何度も何度も繰り返す子や、木登りをして雪のじゅうたんの上にジャンプをして遊ぶ子、それぞれが自由に、のびのびと好きな雪遊びを満喫しています。高学年の子どもの中には、普段、友だちと一緒に外で雪遊びをすることはほとんどないようで、「放課後教室に来るとみんなで雪遊びができるから楽しい」という声や「いつもはただ通り過ぎるだけで何も気づかないけど、遊びながら歩くと松ぼっくりや変な形の木の子とか、いろいろなものが見つかるね」と楽しそうにしている様子が印象的でした。



2月11日（祝・水）に放課後特別教室・あつまっ子ふるさと体験教室の第5回目の活動を実施しました。昨年度から、とまこまい広域農協青年部厚真支部さんとの共催で開催してきた食育プログラム。今年度は農作業体験に加え、厚真町商工会青年部さん、あつま新鮮組さんにもご協力をいただき、職業体験プログラム（あつまっ子カフェ）を実施してきました。6月の田植えに始まり、じゃがいも掘り、稲刈りと収穫祭を通して、厚真を支える産業である農業を知り、自分たちが関わった農産物を加工した商品を販売するお店を、自分たちの手で作っていくという活動を行ってきました。今回はお世話になったみなさんをお招きし、秋に収穫したお米を使い、子どもたちがおにぎりなどのお昼ごはんを作っておもてなしをするというプログラムです。最後の1年間の活動を終えてのふり返りでは、「初めて手で田植えをしたのが楽しかった。またやってみたい」、「あつまっ子カフェで商売のおもしろさを知った」という子どもたちの感想がありました。関わっていただいたみなさんからも「子どもたちの姿を見ていて、自分たちのモチベーションも上がった」、「活動全体にストーリー性があった」という声をいただきました。あつまに育つ子どもたちにとっても、また、それを支える大人たちにとっても“これから”につながる活動になっていくよう、今年度の反省を生かし、また次年度に向けて企画を作っていきたいと思っております。参加してくれた子どもたち、保護者の方々、活動を支えていただいたみなさまに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



おにぎり、豚汁
生姜焼きも作
りました☆



みんなで美味しく
いただきます！



子どもから大人まで、総勢 54 名
ご参加ありがとうございました！！